

# 冬の俳句

をさむ

短日の大阪の夕薔薇の雲

ゆうばら

冬ざれて庭に這い蹲るのら猫よ

は つくば

ちさい子よ一粒お食べ冬苺

いちじく

新選組血は送り冴ゆる剣

ほとばし さ

ユートピア竜に乗りてどこまでも (無季)

冬の庭寂しくなりてお湯をやる

クリスマス緑と赤の柵七つ

ひいらぎななつ